

様式第3号

会 議 録

会 議 名 (審議会等名)	平成22年度 第8回 川西市社会教育委員の会		
事 務 局 (担 当 課)	教育振興部 社会教育室 (内線 3421)		
開 催 日 時	平成23年2月23日(水) 10時00分～11時50分		
開 催 場 所	川西市役所 2階 202会議室		
出 席 者	委 員	生田議長、佐道副議長、小柳委員、渡邊委員、安藤委員、 岡田委員、田中委員、廣末委員、池田委員 計9名	
	そ の 他		
	事 務 局	牛尾教育振興部長、中塚総務調整室長、林教育支援室長、 谷社会教育室長、渡瀬中央公民館長、藤巴中央図書館長、 小田中央公民館主幹、河野生涯学習センター所長、小倉青 少年支援課長、片山主任、下邨主事 計11名	
傍聴の可否	<input checked="" type="checkbox"/> 可・不可・一部不可	傍聴者数	1名
傍聴不可・一部 不可の場合は、 その理由			
会 議 次 第	1. 報 告 (1) 阪神北地区社会教育委員協議会第2回研修会について (2) その他 2. 議 題 (1) 会議録の承認について (2) 年間テーマについて 「学校・地域・家庭をつなぐ社会教育のあり方」 3. その他		
会議結果	別紙のとおり		

議長	第8回社会教育委員の会を開会する。
事務局	挨拶
議長	<p>報告</p> <p>(1) 阪神北地区社会教育委員協議会第2回研修会について 議長、C委員、F委員、A委員より報告</p> <p>(2) 生涯学習短期大学レフネックの卒業式について G委員より報告</p>
議長	<p>議題に入る。</p> <p>(1) 第7回議事録について。 (全員承認)</p> <p>(2) 年間テーマ「学校・地域・家庭をつなぐ社会教育のあり方」について。</p> <p>社会教育委員の会は、独任制の機関ですので、各委員の方より意見提起していただきますが、同時に会としてまとめたものも提出する。</p> <p>それでは、各委員の意見の概略の説明をお願いしたい。</p> <p>まず、私の意見は、1、委員の会で論じられている意見を社会教育行政担当者は具現化に向け取り組んでいる。2、川西市の生涯学習を含め総合的な司令塔が見えにくい。3、すべての校区各組織を網羅した教育推進の組織を立ち上げ、優れたコーディネーターの育成と地域の人材の発掘の必要性。4、学校・社会教育関係のリーダーシップの発揮の重要性。5、教育委員会は学校教育に特化しないことの5点です。</p>
副議長	<p>人は、他人のマネをしながら、無意識のうちに周りにいる人との関わりで育っていくものだと感じる。</p> <p>この一年で学んだ事は、社会教育が社会づくりの一員として、社会に参加する力を育む為の学びを実施し、それを社会に向け発信していかなければいけないということです。</p> <p>議長の意見に生涯学習の司令塔がないとありましたが、私はそれを公民館が中核になるのではと思う。</p> <p>公民館が社会に参加するための力を育てるような講座を企画していただきたい。</p> <p>教育広報誌の「花ばたけ」などの情報発信がたくさんの方々の目に入るよう願っている。</p>

E 委員	<p>3つ書かせていただいたのですが2つは学校支援地域本部に関することです。</p> <p>最初の2つは、せつかく育った人材をひきつづき支援すること、不可欠なコーディネーターの人材育成するしくみづくりで、3点目は市役所、公民館、その他公共機関がよき繋ぎ手となり、市民の思いを活かすよう努めることです。</p> <p>行政のバックアップ、地域の自立によるコミュニティファンドの支援も必要と考える。</p>
F 委員	<p>1点のみで、事務局職員の実質減、公民館館長の嘱託化などの懸念で、少人数で守備配備が広く、絶対数が少なく、社会教育関係職員の適正配置をお願いしたいと思う。</p>
議長	<p>H委員は欠席ということでレポートだけの提出となっております。</p>
G 委員	<p>社会教育委員とは何かと、漠然としていたが、回を重ね、学校・地域・家庭それに行政も加わり地域社会全体で子どもをともに育て、大人も子どももともに学びあう、地域教育、生涯学習の質の向上をコーディネートしていくことだとうけとめた。</p> <p>10年前にコーラスグループを立ち上げ、川西市民創作ミュージカル「川西の金太郎」の企画制作に携わり大変楽しく、この楽しさを市民の皆さんに還元できればと思っている。</p>
A 委員	<p>挨拶運動を全市で取り組むこと、トライやるウィーク受け入れ対策マニュアルを学校に提出するよう受け入れ側に依頼すること、ボランティアセンターを設置することなど提言させていただきます。</p> <p>ただ、社会福祉協議会のボランティアセンターはあったのですが、目にも留まらなかったもので記載した。</p> <p>今後は、市民の目に留まる様をお願いしたい。</p> <p>最後に、阪急とJRの駅名について記載した。</p>
B 委員	<p>学校支援地域本部事業で、新しい事業を始めて定着させて行くのには大きな時間や力があるというのを痛感した。</p> <p>焦って大きく広げようとするよりも、地道にこつこつやっていくことが大切なのだと思った。</p> <p>以前は中学校区に一人のコーディネーターを置くことばかりを思っていたのですが、図書ボランティアのイベントをして行く中で、地道にこつこつやっている方がコーディネータ</p>

C 委員	<p>一の役割をもって頂いて広がって行くことが多かったので、無理にコーディネーターを探すのではなく、地道に活動して行く中でいいものが生まれて行くのでは思った。</p> <p>学校支援地域本部で色々な冊子を作ってもなかなか伝わらないのは、受け取る側に興味や意識がないからではないかと思い、情報発信の難しさを感じた。</p> <p>受け手が意識を持っていることは、情報として入ってくるので、興味や意識を持っていただく働きが必要と思った。</p> <p>学校が地域との信頼関係を築くことで色々な支援を受けられるのではないかと。</p> <p>落ち着いた学校づくりがその基本になると思う。</p> <p>社会全体で子どもを育てるといいながらも、学校・地域・家庭が、それぞれの立場で発信し、ネットワークができるそんな信頼関係づくり、それにつけると思う。</p>
D 委員	<p>教育の中心になるのは家庭教育と思う。</p> <p>家庭と学校は、それぞれ核を持って、子どもの教育に当たらなければならないと思うし、それがあつての連携である。</p> <p>当校の職員は地域の行事にも参加し、地域も方もサポートしていただいているが、課題もある。</p> <p>学校だけでは、カバーできないところは地域の方を市でコーディネートしていけたらと思う。</p> <p>ただ、学校より家庭の方が支援を求めていると思うので、保護者の助けになるような仕組みづくりが必要だと思う。</p>
副議長	<p>家庭が相談するところが分からないとのことですが、児童委員が活動しているのではないかと。</p>
D 委員	<p>私の学校も色々あるのですが、困っている家庭が児童委員と連携して動いているといったことはほとんど聞かない。</p>
副議長	<p>困っている家庭の方が児童委員を知らないのでは。</p>
D 委員	<p>その点については、もっとPRがあつてもいいのではないかと。と思う。</p> <p>児童委員の方から困っている家庭に声をかけるパターンが多いと思う。</p>
副議長	<p>それは、問題が表面に出てきてからで、家庭内で、ちょっと困ったときに相談できる場所があれば良いと思う。</p>
議長	<p>各委員で質問ありましたらお願いします。</p>

副議長	<p>今までの公民館講座は趣味といったものが多かったが、参加した人が自分から行動を起こすことを考えられるような学習の講座はどうか。</p>
事務局	<p>公民館は色々な講座があり、市民の方が学習する場です。講座を受講してグループを結成し、社会活動に参加されるのはありますが、社会貢献をするために講座に参加される方は少ない。</p> <p>学校支援地域本部事業などへの参加の啓発をしているのですが実際にはそこにいたらない状況です。</p> <p>講座を通じ、地道に社会活動への参加を呼びかけるしかないと思う。</p>
副議長	<p>社会教育委員の研修会でも、講座で学んだことを社会につなげてくださいということが大事と言われていた。</p>
議長	<p>社会教育施設職員の専門性に行き着くと思う。</p> <p>以前の川西市は、社会教育施設の職員に、専門職員の資格をとる手助けをし、充実していたが今は後退している。</p>
F 委員	<p>以前は、社会教育主事が必置義務であったが、今は努力義務になっている。</p> <p>社会教育にスポットが当たらなくなったのか、独り立ちができるからその必要がなくなったのか、どちらかだと思う。</p>
E 委員	<p>今は、社会教育が教育だけでなく地域づくり、まちづくりというのに入ってしまっていて、社会教育のあり方が変わってきていると思う。</p>
議長	<p>先日の研修会でも話がありましたが、社会教育委員も必置となる法的な位置づけは、補助金の交付の部分だけです。</p> <p>人権・福祉などを含めたまちづくりの一環として生涯学習の部分があるので、市としての指針が見えず、色々な意見が出ると思う。</p> <p>各委員の意見は、教育委員会に提出させていただく。</p> <p>次に、この一年間論議してきたことを文章にし、教育委員会に報告したい。</p> <p>社会教育委員の会は自主的にテーマを決め、論議し、その結果を教育委員会に報告し参考にしていただくという方針で進めてきている。</p> <p>今までの議事録を精査し、検討案として1枚目に経過、2枚目に要約案として私のほうでまとめました。</p>

E 委員	<p>学校を核とした地域のつながり、家庭、社会教育との繋がりで論じてきましたが経過、要約案について意見ありますでしょうか。</p> <p>「各中間支援組織との連携と情報発信」とありますが、各中間支援組織では意味が分かりにくいと思う。</p>
議長	<p>多種多様な組織を総括して言っているのですが、表現方法等を検討してみる。</p> <p>まとめの修正、校正は議長、副議長に一任させていただく教育委員会に提出というのでいいでしょうか。</p> <p>(全員了承)</p>
事務局	<p>事務局から事務連絡をお願いする</p> <p>社会教育法に基づき、社会教育団体に対する補助金の承認をいただきたい。</p> <p>社会教育室所管では昨年度と同額で、川西市婦人会 9 万円、川西ユネスコ協会 9 万円、川西市 P T A 連合会 28 万 3 千円、幼稚園 P T A 連絡協議会 4 万 5 千円、新年度より新たに 240 万円を、議会に予算計上している。</p> <p>(全員承認)</p>
議長	<p>以上で閉会する。</p>